

秋田焼山の火山活動解説資料（平成 23 年 1 月）

仙台管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 2～3）

焼山（山頂の西約 2 km）に設置してある遠望カメラ（東北地方整備局）では、湯沼および叫沢源頭部の噴気の高さは概ね 20m 以下で、噴気活動は低調な状態が続いています。

・地震や微動の発生状況（図 4）

火山性地震は少ない状況が続いています。
火山性微動は観測されませんでした。

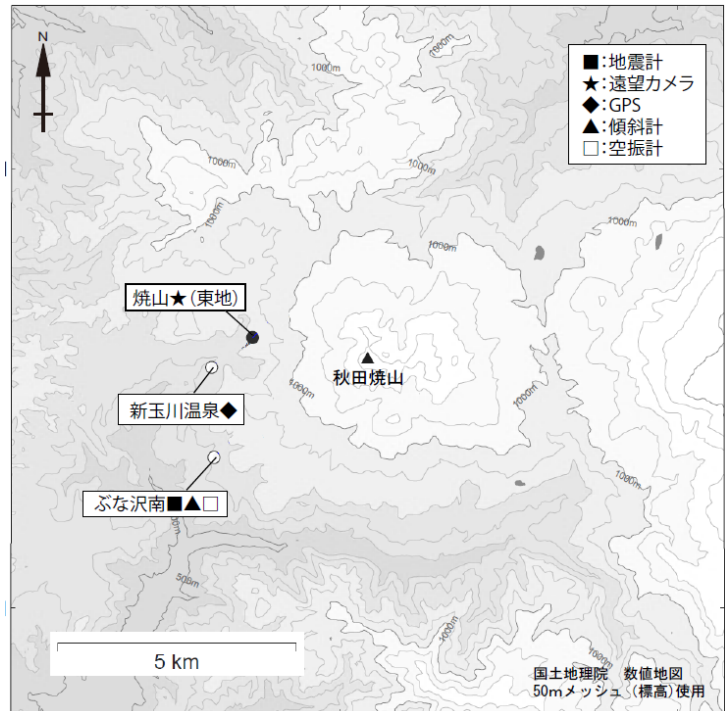


図 1 秋田焼山 観測点配置図

（小さな白丸は気象庁観測点位置を示しています。
小さな黒丸は他機関の観測点位置を示しています。）
（東地）：東北地方整備局

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 23 年 2 月分）は平成 23 年 3 月 8 日に発表する予定です。

※資料は、気象庁のデータその他、東北大学、弘前大学、独立行政法人防災科学技術研究所のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 20 業使、第 385 号）。

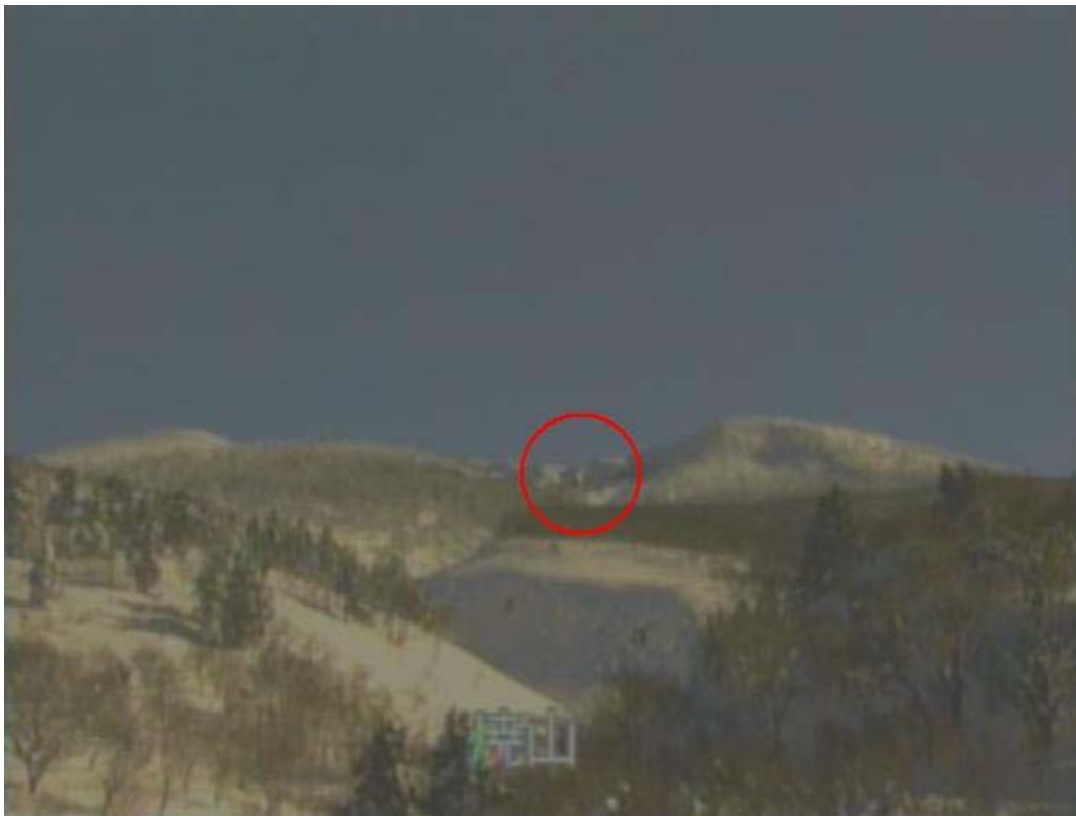


図 2 秋田焼山 叫沢源頭部の噴気の状態（2011 年 1 月 27 日 10 時 15 分頃）
 焼山（山頂の西約 2 km）に設置してある遠望カメラ（東北地方整備局）による。
 赤丸実線で囲んだのが、叫沢源頭部の白色噴気で高さ 20m。

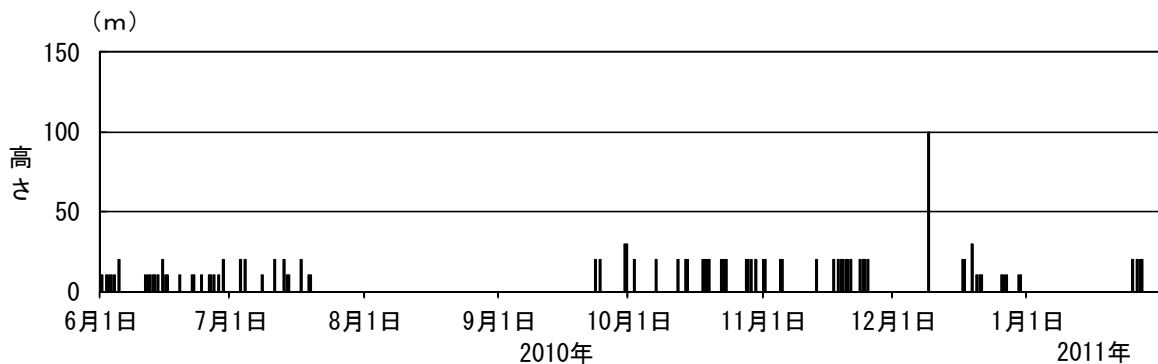


図 3 秋田焼山 日別最大噴気の高さ（2010 年 6 月～2011 年 1 月）
 2010 年 6 月 1 日から焼山遠望カメラ（東北地方整備局）により観測開始。



図 4 秋田焼山 火山性地震の日別回数（2010 年 10 月～2011 年 1 月）
 2010 年 10 月 15 日から観測開始。